



本校の授業改善に向けた視点～校内研究を中心に～				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>主題「自ら考え、学び合う児童の育成」</p> <p>○算数の基礎・基本を定着させる指導法の工夫</p> <p>・少人数習熟度別指導の工夫</p> <p>・板書・ノート指導の工夫</p> <p>○東京ベーシック・ドリルの活用</p> <p>・朝学習で実施する。</p>	<p>・授業時数を極力減らさず、研究授業の時間を確保するために、月1回の校内研究日を基本とし、小中一貫研修会で校内研の内容を行ったりするなどの工夫をする。</p>	<p>・全教員が研究授業を行い、教員一人一人が児童の確かな学力の育成に向けて、授業改善に取り組む。</p> <p>・小中一貫教育実践校の研究を生かし授業に取り入れる。</p>	<p>・ねらいに則して評価計画を作成し、個に応じた評価を行う。</p> <p>・指導者が声かけを行うとともに、児童相互にかかわりをもたせ、自分の取組を振り返らせる。</p> <p>・学習カードをもとに、指導者がその時間の活動を評価すると共に、次時へ向けての助言を行う。</p>	<p>・掲示板で研究授業の様子を伝えたり、学習で使ったワークシートに保護者の記入欄を設けたりするとともに、家庭への啓発をしていく。</p> <p>・学校関係者評価を授業改善に生かす。</p>